



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 スターゼン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8043 URL <http://www.starzen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中津濱 健
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務経理本部長 (氏名) 中井 俊夫 (TEL) 03-3471-5521
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	195,451	△0.1	1,756	△7.6	2,357	8.2	1,018	△5.2
25年3月期第3四半期	195,744	△1.9	1,901	△30.5	2,178	△31.1	1,074	△6.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 953百万円(△32.4%) 25年3月期第3四半期 1,409百万円(33.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	12.74	—
25年3月期第3四半期	13.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	107,810	28,723	26.7
25年3月期	94,848	28,333	29.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 28,773百万円 25年3月期 28,303百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	7.00	7.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	△1.6	1,900	3.8	2,400	11.2	1,000	16.1	12.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期3Q	87,759,216株	25年3月期	87,759,216株
26年3月期3Q	7,840,545株	25年3月期	7,822,872株
26年3月期3Q	79,928,424株	25年3月期3Q	77,581,895株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策の影響から円安株高が進み、設備投資や百貨店売上高が前期比増加に転じるなど景気回復傾向が続きました。

食肉業界は、国産食肉、輸入食肉ともに出荷頭数減少や夏場の猛暑、急激な円安などの影響から市況は高値で推移しました。

このような状況の中、当社グループでは、営業体制を刷新し、営業力強化のため4月に新設した営業本部を中心に販売各社を通じて食肉および加工食品の拡売に努めましたが、食品では引き続き慎重な消費が続くなか、取扱量、売上高ともに微減となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,954億51百万円（前年同四半期比0.1%減）、営業利益は17億56百万円（前年同四半期比7.6%減）、経常利益は23億57百万円（前年同四半期比8.2%増）となりました。四半期純利益につきましては10億18百万円（前年同四半期比5.2%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

＜食肉関連事業＞

食肉関連事業の売上高は1,934億56百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。

また、品目別の業績は次のとおりであります。

（食肉）

国産牛肉は平成22年に宮崎県で発生した口蹄疫や東日本大震災に由来する出荷頭数の減少、また、夏場猛暑による生育不良から相場が上昇しましたが、消費者の低価格志向が根強く高級部位を中心に販売が伸び悩みました。その結果、取扱量は前年を下回りましたが、売上高は前年を上回りました。

国産豚肉は冷凍品の輸入量が減少したことに伴い加工品原料の代替需要があったものの、取扱量、売上高ともに前年を下回りました。

国産鶏肉は前年並みの生産量でしたが、むね肉を中心に量販店での特売需要など引き合いが強く相場高で推移した結果、取扱量、売上高ともに前年を上回りました。

輸入牛肉は北米産牛肉の月齢緩和措置の影響から米国産の輸入量が大幅に増えた一方で、中国向け輸出が急増した豪州産の輸入量が減少したことから、輸入量は前年並みで推移しましたが、価格は円安・現地高の影響から高止まりしました。その結果、取扱量は前年を下回りましたが、売上高は前年を上回りました。

輸入豚肉は通関手続きの厳格化や円安などの影響で冷凍品の輸入量が大幅に減少したことから取扱量、売上高ともに前年を下回りました。

輸入鶏肉は販売競争が激しくなったことから取扱量、売上高ともに減少しました。

これらの結果、食肉部門の売上高は1,580億82百万円（前年同四半期比0.8%減）となりました。

（加工食品）

ローストビーフ、ハンバーグを中心に販売は引き続き好調に推移し、取扱量、売上高ともに前年を上回り248億68百万円（前年同四半期比5.1%増）となりました。

（ハム・ソーセージ）

工場の集約化、生産品目の統廃合による経営効率化を図った結果、取扱量、売上高ともに前年を上回り、売上高86億57百万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。

(その他)

その他の取扱品につきましては、売上高は18億48百万円（前年同四半期比24.5%減）となりました。

＜その他の事業＞

その他の事業は主に製麺事業等で、売上高は19億94百万円（前年同四半期比9.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べて、131億61百万円増加し、693億84百万円となりました。これは、主として現金及び預金が増加したものの、受取手形及び売掛金、前渡金、商品及び製品が増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて、1億80百万円減少し、383億77百万円となりました。これは、主として建物及び構築物や機械装置及び運搬具が増加したものの、土地が減少したことによります。

この結果、総資産では、前連結会計年度末に比べて、129億62百万円増加し、1,078億10百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて、95億65百万円増加し、530億56百万円となりました。これは、主として短期借入金が増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて、30億6百万円増加し、260億30百万円となりました。これは、主として長期借入金が増加したことによります。

この結果、負債合計では、前連結会計年度末に比べて、125億72百万円増加し、790億87百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて3億89百万円増加し、287億23百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、当第3四半期の連結業績を鑑み平成25年11月5日に公表いたしました通期連結業績予想を下記の通り修正しております。

なお、配当予想につきましては変更ありません。

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成25年11月5日発表)	250,000	1,900	2,400	800	10.01
今回修正予想 (B)	250,000	1,900	2,400	1,000	12.51
増減額 (B－A)	0	0	0	200	—
増減率 (%)	0.0	0.0	0.0	25.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	254,124	1,830	2,158	861	11.03

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,865	7,189
受取手形及び売掛金	29,832	36,988
商品及び製品	11,584	14,207
仕掛品	383	352
原材料及び貯蔵品	1,213	1,710
その他	5,568	9,087
貸倒引当金	△224	△152
流動資産合計	56,222	69,384
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,629	11,951
土地	9,480	8,608
その他（純額）	5,965	6,368
有形固定資産合計	27,075	26,928
無形固定資産		
のれん	1,201	1,104
その他	541	499
無形固定資産合計	1,743	1,603
投資その他の資産	9,739	9,845
固定資産合計	38,557	38,377
繰延資産	68	49
資産合計	94,848	107,810

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,303	15,344
短期借入金	14,530	24,210
未払法人税等	552	191
賞与引当金	1,167	582
その他	11,937	12,726
流動負債合計	43,490	53,056
固定負債		
社債	4,100	4,100
長期借入金	14,723	18,096
退職給付引当金	1,715	1,720
その他	2,484	2,113
固定負債合計	23,024	26,030
負債合計	66,514	79,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,899	9,899
資本剰余金	10,915	10,916
利益剰余金	8,221	8,680
自己株式	△1,348	△1,354
株主資本合計	27,687	28,141
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	531	751
繰延ヘッジ損益	272	24
為替換算調整勘定	△188	△143
その他の包括利益累計額合計	615	631
少数株主持分	30	△50
純資産合計	28,333	28,723
負債純資産合計	94,848	107,810

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	195,744	195,451
売上原価	177,921	178,582
売上総利益	17,823	16,868
販売費及び一般管理費	15,921	15,111
営業利益	1,901	1,756
営業外収益		
受取利息	35	30
受取配当金	62	156
不動産賃貸料	377	360
受取保険金及び配当金	193	212
持分法による投資利益	5	139
その他	298	309
営業外収益合計	972	1,209
営業外費用		
支払利息	365	337
不動産賃貸費用	154	144
その他	176	127
営業外費用合計	696	608
経常利益	2,178	2,357
特別利益		
固定資産売却益	10	4
投資有価証券売却益	34	5
関係会社清算益	41	—
補助金収入	97	—
受取補償金	167	5
特別利益合計	351	15
特別損失		
固定資産除却損	23	41
減損損失	433	660
投資有価証券評価損	110	3
特別損失合計	567	706
税金等調整前四半期純利益	1,963	1,666
法人税、住民税及び事業税	556	523
法人税等調整額	328	205
法人税等合計	884	729
少数株主損益調整前四半期純利益	1,078	937
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4	△81
四半期純利益	1,074	1,018

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,078	937
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	214
繰延ヘッジ損益	339	△248
為替換算調整勘定	△0	45
持分法適用会社に対する持分相当額	2	5
その他の包括利益合計	330	16
四半期包括利益	1,409	953
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,404	1,034
少数株主に係る四半期包括利益	4	△81

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

当社は、生産肥育から食肉の処理加工、製造、販売に至るまでの事業を主に国内で行う「食肉関連事業」を中心に事業活動を展開しており、報告セグメントは「食肉関連事業」のみであるため、セグメント情報の記載を省略しております。